

No	キャラ名	台詞
4-001	彩蝶	あ、ああ……熱い視線を感じると思えば、 そういえば貴方がいたんでしたね。
4-002	彩蝶	すみません。盛り上がりてしまい、 つい存在を忘れていました。
4-003	雛菊	姉さんが謝る必要なんてない、 私たちの家にいるそいつが悪い。 目障り……今すぐ追い出そう。
4-004	彩蝶	怪我人を相手になんてことを言うの。 殿方が苦手なのはわかるけど、 いつからそんな思いやりのない子になったのかしら？
4-005	雛菊	だって……
4-006	彩蝶	だってじゃありません。 そんな子はウチの子ではありませんね。
4-007	雛菊	そ、そんな……ごめんなさい、姉さん！
4-008	彩蝶	あらあら、謝る相手が違うのではないかしら？ 私に謝ってどうするの。違うでしょ？
4-009	彩蝶	私は素直に謝れる子が好き。 自分が悪いのに謝れもしない子なんて、 たとえ血を分けた妹でも嫌だわ。
4-010	彩蝶	その点雛菊は違うわよね。 間違いを素直に認められる素直で優しい自慢の妹よね？ ね？ そうでしょ？
4-011	雛菊	ひ、酷いことを言ってごめんなさい……
4-012	彩蝶	まさか、それで謝ったつもり？ 全然誠意が感じられないわね。
4-013	雛菊	そんな……

- 4-014 彩蝶 そんなではありません。
上辺だけの謝罪などなんの意味も成しはしない、
そんなまやかしの謝罪ならしない方がマシです。
- 4-015 雛菊 それじゃ、どうすれば……？
- 4-016 彩蝶 だから言ったでしょ、誠意を示せと。
- 4-017 雛菊 え～と……あの……ええと……
- 4-018 彩蝶 なにをアタフタしているの？
もしかしてどうしたらいいかわからないの？
- 4-019 彩蝶 本当に仕方がない子ね。
立派になったのは胸ばかりなんだから。
これからはもっと礼儀を教えなきゃ。
- 4-020 雛菊 ごめんなさい……
- 4-021 彩蝶 だから私に謝っても仕方がないでしょう。
妹の不始末は姉の責任。
- 4-022 彩蝶 だから、誠意ある謝罪というものが
どういうものか教えてあげるわ。
ほら、見てご覧なさい彼の股間を。
- 4-023 雛菊 あっ……
- 4-024 彩蝶 服の上からでも分かるほどいきり立っているのが
分かるでしょう？
私たちのまぐわいを見て興奮してしまったのね。
- 4-025 彩蝶 さぞかし股間が窮屈なことでしょう。
いらぬ劣情を抱いてしまったことでしょう。
- 4-026 彩蝶 そうさせてしまったのが私たちならば、
鎮めて差し上げるのもまた私たちの責任。

- 4-027 彩蝶 うふふ、妹がとんだ失礼をしました。
それとお恥ずかしいところをお見せして
申し訳ありません。
- 4-028 彩蝶 せめてものお詫びにお相手させて頂きます。
少々くすぐったいかも知れませんが、
ジッとしていて下さいね。
- 4-029 彩蝶 もっとも芋虫のようなその様では
動きたくても動けないでしょうけど。
- 4-030 彩蝶 おっと失礼。
私としたことがお客様に向かって芋虫だなんて、
重ね重ね申し訳ございません。
- 4-031 彩蝶 これは心を込めてお相手をしなければなりませんね。
- 4-032 SE 服を脱がせる音（布擦れ音）
- 4-033 彩蝶 おや……あらあらまあまあ、
これはこれはなかなか立派なイチモツではありませんか。
まさに天をつくほどそり立って……
- 4-034 彩蝶 さぞかし窮屈だったことでしょう。
もっと早くに気づくべきでしたね。
- 4-035 彩蝶 しかし見れば見るほど立派なイチモツです。
長さも太さも馬並みで、
浮かび上がった血管のなんと猛々しいことでしょう。
- 4-036 彩蝶 おまけにこのむせ返る凝縮された獣のような雄の匂い。
匂いを嗅いでいるだけクラクラしてしまいます。
- 4-037 彩蝶 では、失礼します……チュッ……
※以降、舌と唇による男性器への愛撫
- 4-038 彩蝶 うふふ、亀頭に口づけをしただけで身をよじらせて、
そんなに気持ち良かったのですか？

- 4-039 彩蝶 ですが、まだ始まったばかり本番はここからですよ。
レロッ……はん……んはあ……ペロ……ん……
はああ……
- 4-040 彩蝶 どうです、竿をネットリと舐めあげられる感触は？
うふふ、そうですか、震えるほど気持ちいいのですね。
- 4-041 彩蝶 そんなにいいのでしたらタップリと舐めて差し上げますよ。
レロッ……レロッ……ペロ……んうう……はああ……
チュッ……はあ……
- 4-042 彩蝶 この浮きあがった血管が堪りません……ハアハア……
レロッレロッ……チュッ……レロッ……んああ……
- 4-043 彩蝶 本当……なんて逞しいイチモツなのでしょう……レロッ……
んううう……舌を這わせるたび脈打って……んうう……
ハアハアハア……
- 4-044 彩蝶 こんな幼い容姿の私に興奮してくれるなんて嬉しい……
レロッ……んはああ……ん……チュパ……んうう……
ハア……ハアハアハア……はあん……
- 4-045 彩蝶 亀頭の先から先走りが……ハアハア……
見るからに美味しそう……うふふ、食べちゃいますね。
- 4-046 彩蝶 はあむ……んんう……大きい……んあああ……はあああ……
んう……口が裂けてしまいそうなほど太い……はああ……
- 4-047 雛菊 あんなに大きなイチモツが姉さんの小さな口の中に
飲み込まれていく……すごい……
※以降、フェラチオ
- 4-048 彩蝶 ハアハアハアハア……んううう……ジュブジュブ……
ジュルルル……ん……ジュボジュボ……んうう……ん……
はああああ……んくっ……んはああ……
- 4-049 雛菊 姉さんの口の中を大きなイチモツが出たり入ったり……
苦しそうに見えるのに……姉さんたら……ヨダレを垂らして
なんて淫らな表情を……ハアハアハア……

- 4-050 雛菊 姉さんが汚されていく……だけど……見ているだけで
感じちゃう……体が熱くなって……抑えきれない……
んうう……ハアア……ダメえ……んう……
- 4-051 雛菊 どんどん奥から熱い蜜が溢れ出して……止められない……
んうう……ダメ……このままじゃおかしくなってしまう……
アソコを慰めなきゃ……じゃないと私……
※以降、フェラする彩蝶をおかずにはじめる
- 4-052 雛菊 んううう……んっ……凄い……こんなに濡れてる……
軽く触っただけなのに……指が蜜でヌルヌルに……
ハア……ハアハアハア……んうう……
- 4-053 雛菊 ああ……すごい……指が抵抗なく肉壺の中に……入って……
くうう……いい……いいの……熱い……身も心も熱く……
あああ……んうう……あああああつ……！
- 4-054
- 4-055 雛菊 んうう……ハアハアハア……んうう……んううう……
ヒダが指に絡まって……締め上げてくる……ハアハア……
くうん……ふあああ……ああああああ……！
- 4-056
- 4-057 雛菊 ああ……また奥から蜜が……ハアハア……んううう……！！
- 4-058 彩蝶 んあああ……ゴホゴホっ……うえええ……ハアハア……
くう……ハアハア……イチモツのあまりの大きさに……
喉の奥まで犯されてしまうなんて……
- 4-059 彩蝶 それにしても謝罪の場だというのに私の口淫をおかずには
手淫するとは呆れたものね。
さすが盛りのついた雌犬だわ。
- 4-060 雛菊 ね、姉さん……んうう……ハアハア……あっ……くうん……！
- 4-061 彩蝶 ほら、今度は雛菊の番よ。謝罪の仕方はちゃんと見ていたわね。
1人で気持ち良くなっているでちゃんと誠意を示しなさい。
わかったわね？

- 4-062 雛菊 わ……わかった……ハアハア……んんうう……
- 4-063 彩蝶 指を抜いた瞬間ドロッと肉壺から蜜を滴らせて……
本当に仕方のない子ね。
- 4-064 雛菊 ハアハア……姉さんの唾液塗れのイチモツ……
姉さんの甘い味がするイチモツ……ハアハア……
※以降、雛菊による男性器への愛撫（舌＆唇）
- 4-065 彩蝶 私の唾液を舐めとるようにネットリと竿に舌を這わせて……
うふふ、なんてウットリとした顔をしているのかしら。
- 4-066 彩蝶 男嫌いと言いながら蕩けるような顔をして、
やはり雛菊は淫乱ね。
- 4-067 彩蝶 さあ、舌先で尿道をほじるように刺激して差し上げて。
- 4-068 雛菊 うん……レロッ……んうう……レロッ……ペろペろ……
んはああ……んう……レロッ……
- 4-069 彩蝶 いいわ。もっと猫が毛づくろいするようにチロチロと。
- 4-070 雛菊 レロッ……んああ……はああ……んああ……んう……
はああ……レロッ……レロッ……ちゅる……
- 4-071 彩蝶 上手よ。
ほら、彼も恍惚な表情を浮かべて身悶えているわよ。
- 4-072 雛菊 はあむう……んうう……レロッ……はああ……あむう……
レロッ……んくう……はああ……あむう……
- 4-073 彩蝶 それにもしても本当に気持ちよさそうですね。
私の時とは大違います。
ヨダレを垂らすほど感じてしまうなんて……
- 4-074 彩蝶 さあ、雛菊、今度はカリ首を重点的に舐めて差し上げなさい。

- 4-075 雛菊 ふあい……んうう……レロッ……んうう……はあああ……
はむう……チュパチュパ……レロッ……んんうう……ハア……
くううん……んはああ……レロッペロッ……
- 4-076 雛菊 レロッ……はあ……んうう……チュパ……レロッ……くうん……
はあああ……レロッ……レロッ……あむう……チュパ……
- 4-077 彩蝶 綺麗に舐めとったのに、先走り汁があんなに……
その淫らな唇でイチモツをくわえ込み
激しくしごいて差し上げなさい。
※以降、雛菊のフェラチオ
- 4-078 雛菊 いただきます……あむう……んんうう……んくっ……んうう……
はああ……んああ……ふううう……ん……
- 4-079 彩蝶 さすがね。
私の口には余るほどの巨根を容易く飲み込んでいくんですもの。
- 4-080 雛菊 はあむう……んうう……シュルルルル……はあああ……あむう……
んああああ……んう……チュパ……
- 4-081 彩蝶 喉の奥までくわえ込んだらそのまま激しく頭を前後させ口全体で、
イチモツにご奉仕なさい。
- 4-082 雛菊 んぐうつ……うぐっ……ハアアア……ゲホッ……うぐう……ん……
ジュルルルル……ジュボ……ジュボボボボ……んあああ……ふう……
くうん……ふああああ……ジュルルルル……！
- 4-083 彩蝶 2人とも快楽に飲み込まれ劣情を貪るただの畜生。
いいえ、畜生ですらこんなに乱れはしないでしょう。
うふふ、実にお似合いですよ。
- 4-084 雛菊 ジュルルル……んああ……はあああ……んっ……くうん……
ハア……ハア……んぐう……ゴホッ……んぐうう……
- 4-085 彩蝶 これ程の巨根の持ち主はそうはいない、
嬉しいでしょう雛菊？

- 4-086 彩蝶 いいえ、答えなくてもわかっているわ。
涙を浮かべ唾液を滴らせ、締まりのないだらしのない顔を見れば、それが答え。
- 4-087 彩蝶 頭を前後に振り、唾液に塗れたイチモツが姿を現すたび、大きな乳房が激しく波打ち、気持ちいいと叫んでいるようだわ。
- 4-088 雛菊 んあああ……んう……はあああ……ジュルルル……んくう……ふああ……んくううう……ジュルルル……ん……！
- 4-089 彩蝶 ゴクッ……それにしても本当に気持ちよさそうにして……私までまたうずき始めて……んうう……
- 4-090 彩蝶 このままふたりのまぐわいを見届けようと思いましたが私も参加させて頂きます。
※以降、男の乳首にしゃぶりつく彩蝶
- 4-091 彩蝶 うふふ……こんなに乳首を立てて、まるで女の子ですね。あまりの可愛さにむしゃぶりついてしまいたくなります。それでは失礼して――
- 4-092 彩蝶 ペロッ……チュパ……はあむ……んううう……
- 4-093 雛菊 ジュルルル……んぐう……んああ……くうん……ハアハア……ゴホッ……んぐうう……ジュルルル……
- 4-094 雛菊 ね、姉さん……
※以降、彩蝶の女性器に指を挿入し愛撫する雛菊
- 4-095 彩蝶 ちょ……なにを勝手に指を入れてるの……早く抜きなさい……
- 4-096 雛菊 姉さんの中温かい……それにウネウネうねって私の指に絡みついてくる……んうう……
- 4-097 彩蝶 ひやあああ……！！
- 4-098 雛菊 どんどん熱い蜜が溢れてくる……私の指でこんなに感じてくれるなんて嬉しい……もっともっと感じて……

- 4-099 彩蝶 ダメ……無理に広げないで……ああ……んくう……ひやつ……
んんう……はああ……はあ……んうう……ああああつ……！！
- 4-100 雛菊 姉さん……もっと可愛い声を聞かせて……
- 4-101 彩蝶 んんうう……あっあっあっ……はんうう……んうう……
んはあ……あっあっあっ……！
- 4-102 雛菊 そんなに腰を振って……
安心して、もっとたくさんしてあげるから……
- 4-103 彩蝶 誰もそんなこと一言も……ひやあああああああつ……！！
んう……はあはあ……ふああ……くう……はあ……
ひやああああ……はがああ……！！
- 4-104 雛菊 堪らない……姉さんの小さくて狭い膣の感触……
どれだけ触っても飽きない……
- 4-105 彩蝶 あっあっあっ……くうん……ふああ……ダメ……力が……
入らない……くう……はあああ……ん……！！
- 4-106
- 4-107 雛菊 なに、そんな物欲しそうな顔をして？
言っておくけど姉さんの体は使わせない。
- 4-108 雛菊 そのかわり私がこのまま口で最後までしてあげる。
それでいいでしょ？
- 4-109 雛菊 あむう……チュパチュパ……んくう……チュパ……ん……
ジュルルルルルル……！
- 4-110 彩蝶 はああ……んう……んくう……むうんああ……ん……
ふあ……んくう……ふあああ……
- 4-111 雛菊 レロッ……チュパ……チュパ……ジュルル……レロッ……
ふあ……んくう……レロッ……チュパ……
- 4-112

- 4-113 彩蝶 ふあああ……ふああああ……んうう……あつあつ……
くう……私の弱いところばかり……くううう……
肉壺が……蕩けてしまいそう……
- 4-114 彩蝶 ふあああ……ふあああ……あつ……あつあつ……
くうん……はあああ……あん……あつあつあつ……！
- 4-115 雛菊 あむう……はあむ……レロッ……チュパ……チュパ……
んうあああ……はあむ……
- 4-116 彩蝶 このままでは……雛菊にイカされてしまう……ふああ……
姉として……私だけイカされるわけには……雛菊も……
くう……はあ、う……
- ※以降、雛菊の耳を舐め甘噛みする彩蝶
- 4-117 雛菊 うぐう……ハアハア……姉さん……また耳たぶを……
ふああああ……ひやああ……らめえ……
- 4-118 彩蝶 ダメじゃないわ……敏感な耳を攻められ
イッてしまいなさい……チュパ……チュパチュパ……
はあむ……んう……はああ……
- 4-119 雛菊 あつあつあつ……んうう……ひやああ……ダメ……
耳たぶを噛みながら……舌をねじ込まれたら……
あつあつあつあつ……！
- 4-120 彩蝶 口が止まってるわよ……ハアハア……んうう……
イチモツへのご奉仕はどうしたの……？
- 4-121 雛菊 ね、姉さん……レロッ……チュパ……ジュルルル……
んううう……ハアア……！！
- 4-122 彩蝶 レロッ……チュパ……ジュルルル……はあむ……ん……
ふああああ……んくう……！
- 4-123 雛菊 んううう……！
ふああああ……あむう……チュパチュパ……ん……ハア……
ジュルルルル……くうん……ふああああ……

- 4-124 彩蝶 ふああ……あつ……んううう……レロッ……チュパ……
チュパチュパ……ジユルルルルル……
- 4-125 雛菊 ジュルルルルル……チュパチュパ……んう……あつあつ……
んくう……はあむう……チュパパパ……
- 4-126 彩蝶 んう……イクう……もう……すぐそこまで……
あつあつあつあつあつ……んうう……ひやああ……
はああ……くる……もう……もう……！
- 4-127
- ※彩蝶の絶頂
- 4-128 彩蝶 あつあつあつあつあつあつ……くううう……！！
イクううううううううううううううううううつ！！
- 4-129 彩蝶 ハアハアハア……んうう……先にイカされた……
だけど、このまま終わらせないから……
- 4-130 彩蝶 頭がボ一っとするけど……絶対に雛菊も……チュパ……
レロッ……ジユルル……チュパチュパ……あむう……
はあああ……んあああ……ジユルル……チュパ……
- 4-131 雛菊 んううう……！
はあむ……んううう……あつ……んうう……チュパ……
チュパチュパ……ジユルルルル……
- 4-132 彩蝶 はあむ……んううう……あつあつ……チュパ……んあ……
ハアアアア……レロッ……ペロッ……
- 4-133 雛菊 んっ……んうううう……！
- 4-134 彩蝶 うふふ、わかるわよ。
そろそろイキそうなんでしょう？
体を小刻みに痙攣させてわかりやすいのね。
- 4-135 彩蝶 それに、どうやら彼の方もそろそろ限界のようよう。
このまま射精させてあげない、
そして遠慮なく雛菊もイッていいのよ。

- 4-136 彩蝶 ほらほら……レロッ……ジュルルル……チュパチュパ……
はうむう……んああ……チュパチュパ……ジュルル……
- 4-137 雛菊 はあむ……はあむ……チュパ……チュパチュパ……ん……
ふああああ……レロッ……チュパ……レロッレロッ……
んああ……チュパチュパチュパ……
- 4-138 彩蝶 レロッ……チュパ……ジュルルル……んううう……
- 4-139 雛菊 あむう……はあむ……レロッ……チュパ……チュパ……
んうあああ……はあむ……んっ……
- 4-140 彩蝶 うふふ、我慢しなくて良いんですよ。
達したくなったら達してくださいって。
- 4-141 彩蝶 そのまま貴方の子種を雛菊の口の中に注ぎ込んでください。
はあむ……チュパ……ジュルルル……チュパチュパ……
んくううう……ふああ……
- 4-142 雛菊 ふああああ……レロッ……チュパ……レロッレロッ……
はあむ……はあむ……チュパ……チュパチュパ……ん……
チュパチュパチュパ……くっ……！
- 4-143 雛菊 ん……ん……ん……チュパチュパチュパチュパチュパ……！
※フェラしたまま雛菊の絶頂
- 4-144 雛菊 ん！！！？？
んあああああああああああああああああつ！！
- 4-145
- 4-146 彩蝶 うふふ、口に射精されてイッたようね。
それにしてもいくら気持ちいいからって潮まで噴いて、
どこまでも仕方がない子ね。
- 4-147 雛菊 ケホケホケホ……うえええ……んうう……ハアハアハア……
んぐえ……ケホケホ……
- 4-148 彩蝶 あらあらせっかく出して貰ったのに
こぼしちゃうなんてもったいない。

- 4-149 彩蝶 それにしてもなんて濃厚な子種なんでしょう。
重体なときほど人は生きたいと渴望する。
生命力がもっとも活性化する時。
- 4-150 彩蝶 やはり私の見立てに間違いはなかった。
貴方をお招きして本当に良かった。
- 4-151 彩蝶 さあ、雛菊。
いつまでも余韻に浸っていないで
準備に取りかかりかかるわよ。
- 4-152 雛菊 ハアハアハア……わかった……姉さん……